

広報

SHOBARA the public information magazine

しょくばら

美しく輝く 里山共生都市

12

2024/December
No.237



比婆いざなみ街道マラニック大会を開催！

11月10日、西城球技場周辺を拠点会場に「いざなみミック 2024 ~第4回比婆いざなみ街道マラニック大会~」を開催しました。(関連記事:裏表紙)



エイドステーションでは、地域の皆さんがあもてなし



市内の景色を楽しみながら走るランナー



県内初となるJR芸備線でコースを
ショートカットできる画期的な取り組みを実施



ロングコース(約70km)をトップで完走した
たにみずつよし
谷水強さん

庄原市ふるさと大使に任命

庄原市ふるさと大使で、庄原市ジビエ大使の西田篤史さんが、11月3日にご逝去されました。

西田 篤史さん

を偲んで

行政管理課広報統計係 0824-73-1159



庄原市ジビエ大使として活躍



庄原市ジビエ大使として活躍

昭和31年7月8日生まれ。「あつちゃん」の愛称で親しまれた広島密着型ローカルタレント。中学2年生から高校卒業までの5年間を父方の実家があつた本市で過ごす。その後進学し、広島修道大学3年生時にRCCラジオに初出演。卒業後は広島を中心にフリーで活動された。



庄原市ジビエ大使として活躍

また令和4年7月には、イノシシ肉（ジビエ）の知名度とイメージの向上を図るため、庄原市ジビエ大使に任命されました。



平成27年度庄原市成人式(平成27年8月)



金藤さんのスポーツ大使任命式でトーク(平成31年3月)



庄原市民会館リニューアルオープン記念(令和5年5月)



帝釈峡アウトドアフェスティバル(令和6年3月)

広報しようばら 対談エピソード

市制施行10周年の年にあたる平成27年1月号で、西田さんは木山耕三市長と新春対談を行っています。

対談の中で西田さんは「高野の道の駅をはじめ、東城では帝釈峡、庄原であれば上野池、こうした色んなものが年月をかけて認知され、まとまってきたと感じている」と話し、大使就任前から、本市のことを応援し、気に掛けていたと、当時の記録に残っています。西田さんは、庄原市ふるさと大使としての活動は、木山耕三市長との対談の中でも多くのメディアやイベントでPRする姿に、庄原愛が溢れています。

西田さんは、イベント・行事のたびに「庄原市のためなら、僕はなんでもしますからね。いつでも言ってください」と仰っていただき、その大きな優しさと郷土を思う心に、いつも感心させられていきました。

西田さんの活躍は、本市の発展に大きく寄与しています。これまでの西田さんのご厚情に深い感謝を述べるとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。

庄原市ふるさと大使・庄原市ジビエ大使として活躍

年	内容
平成26年～現在まで	市の観光パンフレット「しょうばら旅ノート」「SHOBARA ぐるたび（現：ぐるっと SHOBARA）」などにふるさと大使としてインタビュー記事などを掲載
平成26年12月	テレビ情報番組「ひろしま満点ママ」に出演し、番組内で庄原市の特産品をPR
平成27年4月	テレビ情報番組「Jステーション」に出演し、庄原市ふるさと納税についてPR
平成27年4月～平成28年3月	広島HOMEテレビ制作の庄原市PR番組に出演
平成27年8月	平成27年度庄原市成人式で記念講演
平成27年10月	庄原市市制10周年記念式典へゲストとして出席
平成27年12月	広報しようばら新春企画で木山市長と対談
平成28年7月～平成29年2月	庄原いちばん動画CMコンテスト開催。審査委員長に就任
平成29年12月	因島ウォーキング大会で、庄原市ふるさと大使としてゲスト出演し、庄原市をPR
平成31年3月	金藤理絵さんの「スポーツ大使」任命式でミニトークショー
令和元年5月	ふるさと塾in高野 田植え体験にゲスト参加
令和2年11月	JR備後庄原駅前ロータリー供用開始セレモニーでトークショー
令和4年7月	お試しオフィス「吾妻ロッジ36」開所式に出席 庄原市ジビエ大使に任命
令和5年3月	庄原ファンクラブ会員募集イベントに出席 木山市長とトークセッション
令和5年5月	庄原市民会館リニューアルオープン記念フェスティバルで司会
令和5年8月	帝釈峡ライトアップオープニングイベントで司会
令和5年8月	ヒバゴン郷どえりやあ祭／西城ふるさと祭りで、木山市長とトークショー
令和5年10月	口和モーモー祭で木山市長とトークセッション
令和5年10月	庄原駅前フェスタで司会
令和6年3月	帝釈峡アウトドアフェスティバルで司会

最後に



西田さんは、イベント・行事のたびに「庄原市のためなら、僕はなんでもしますからね。いつでも言ってください」と仰っていただき、その大きな優しさと郷土を思う心に、いつも感心させられていきました。西田さんの活躍は、本市の発展に大きく寄与しています。これまでの西田さんのご厚情に深い感謝を述べるとともに、謹んでご冥福をお祈りいたします。

銃剣道競技(少年男子団体)が初の栄冠を獲得! SAGA2024第78回国民スポーツ大会で優勝

行政管理課広報統計係 0824-73-1159

監督は、広島県銃剣道連盟所属の村田さんが、熱意と情熱を持って子どもたちを指導。モットーに、12人のメンバーが週2回練習を行い、各種大会に出場しています。



小奴可剣友会

銃剣道教室「小奴可剣友会」は、昭和57年に発足。発足から現在まで、43年間にわたり、指導者の井澤継男さんが、熱意と情熱を持って子どもたちを指導。監督は、広島県銃剣道連盟所属の村田さんが、文武両道をモットーに、12人のメンバーが週2回練習を行い、各種大会に出場しています。

10メートル四方の正方形のコートで行います。早く・正確に・正しい姿勢で相手よりも先に有効突き部位である左胸や喉を突いて、勝敗を競います。制限時間内に、2本先取した選手が勝利となります。

制限時間を経過した場合、1本を先取している選手が勝利となり、お互いに1本ずつ、または1本も取得していない場合は、「延長」「引き分け」「判定」のいずれかになります。(大会規定で異なる)

試合

10メートル四方の正方形のコートで行います。早く・正確に・正しい姿勢で相手よりも先に有効突き部位である左胸や喉を突いて、勝敗を競います。制限時間内に、2本先取した選手が勝利となります。

制限時間を経過した場合、1本を先取している選手が勝利となり、お互いに1本ずつ、または1本も取得していない場合は、「延長」「引き分け」「判定」のいずれかになります。(大会規定で異なる)

～全国大会を振り返って～



指導者 井澤さん

全員が一丸となり達成

教え子のみんなが、厳しい戦いを制し、見事優勝を決めてくれました。準決勝、決勝の大将戦で勝利が決まった時には、立ち上がって拍手し、43年間の思いに男泣きました。監督・選手が一丸となり、達成できたと思います。これからは後継者を作りつつ、小奴可剣友会が続くよう自分も倒れるまで、子どもたちに接していくことを思っています。



大将 細川(楓)くん

みんなの応援が支えに

あっという間に終わったという感覚です。一試合一試合を集中して戦い抜きました。これも練習の時から、注意されたら次の練習までには改善するよう意識していました。臨んでいた結果だと思います。先生も本当に熱心に教えてくれるので環境もとても良かったです。小奴可剣友会の仲間や先生、家族、応援してくれたみんなには、感謝の気持ちでいっぱいです。



中堅 富田くん

思いをつなげる

大会を振り返って、一番印象に残っているのは、準決勝の佐賀県との試合です。地元開催ということもあり、会場は佐賀県の応援の人ばかりで、完全アウェーでの試合でした。

先鋒が惜しくも負けてしまい、自分が負けると試合終了という状況でしたが、勝つことができ、大将までつなげることができたことが、うれしかったです。



先鋒 細川(柊)くん

全力で試合に臨む

プレッシャーはありました。試合が始まると対戦相手に集中して臨めました。決勝で戦った高知県とは、過去の大会で負けていたので「勝てるかな」と不安もありましたが、とにかく勝つ、全力で勝つという気持ちで試合に臨み、リベンジを果たすことができました。次の全国大会では、個人戦でも優勝を目指したいです。



【大会結果】	
1回戦	広島県 3
2回戦	広島県 3 - 0 長崎県
準決勝	広島県 2 - 1 佐賀県
決勝	広島県 2 - 1 高知県



10月12日～13日、佐賀県大町町で「SAGA2024第78回国民スポーツ大会」が開催され、少年男女団体戦では、市内の高校生3人が出場。3人3本勝負で勝敗を競い、決勝で高知県代表を破り、見事優勝を決めました。

フランス式銃剣術に、槍術の技法を取り入れた「日本式銃剣術」を起源とする、現代武道の一つです。木銃と呼ばれる長い模擬銃を使い、左手・左足を前にして構え、相手の左胸や喉を突きます。また、銃剣道の技はすべて突き技で、相手の木銃を打ち払う以外は、相手を直接打つ技はありません。

服装

銃剣道専用の胴衣に、剣道と同じはかまを着用します。

銃剣道衣は、剣道の稽古着や柔道衣に比べ、袖が長く、細くなっているのが特徴です。お互いに相手を突く武道

がため、衝撃を和らげるために着けます。

肩・裏布団は、相手の突きによる怪我を防止するため、衝撃を和らげるために着けます。

剣道の防具と同じような「面」「胴」「垂れ」「小手（左手のみ）」に、「肩」「裏布団」「指袋（右手のみ）」を着けます。

木銃の先には「タンポ」と呼ばれるゴムが付いていて、突き技の衝撃を和らげる作りになっています。

木の木で作られ、中学生以上は、長さ166センチ、重さ1100グラム以上のものを使うように決められています。

(4) 参加者の内訳

【職業など】 社会人など：3人 学生：20人
【居住地】 県内：11人（広島市・東広島市・廿日市市）
県外：12人（愛知県・静岡県・岐阜県・愛媛県）
【年齢】 18～22歳：17人 23～29歳：6人



「お試し留学」の参加者の様子をご紹介します！

●施設の見学



比和自然科学博物館

口和郷土資料館

●農林業の作業体験



リンゴの収穫

●地域の人との交流



農家民宿'tomari'

庄原暮らし体験施設
くちわの家

●自然を体感



熊野神社の巨杉



西城川のラフティング



サツマイモの収穫

（参考）第1回体験プログラム（東城地域）では、まちなみ散策、トマト・菊の収穫作業、上帝糞散策などを予定していました。

「お試し留学」参加者の声

第2回 比和・高野地域の参加者より

2つの農園での作業体験を終えて…

普段から買って食べているさまざまな農作物も、こんなに手間をかけて自分の元へ届いているのだと分かり、ありがとうございました。

ほんの一部ですが、農作業の大変さを知ることができました。

参加者の皆さん、体験などの受け入れをしてくださった地域の皆さん、本当にありがとうございました。
※「お試し留学」の様子は今後、ホームページなどで紹介していく予定です。

今後「留学インター（2週間～3ヶ月）」、「留学（1年間）」の就労体験プログラムの参加者を募集する予定です。

来年度も「お試し留学」を実施予定です。今後、市ホームページなどへ情報を掲載していきます。

第3回 庄原・西城地域の参加者より

3日目の意見交換会で…

地域の人が優しくて、おいしいものがたくさんあって、すべてのことが新鮮でした。参加する前には想像もしていなかったいろんな体験ができ、来てよかったです。

庄原いちばんづくり留学事業

庄原市の仕事や普段の暮らしを体験できる2泊3日のプログラム。

令和6年度「お試し留学」を実施しました

いちばんづくり課いちばんづくり係

☎ 0824-73-1278

「庄原いちばんづくり留学事業」は、全国の若者に本市を「知ってもらい・来てもらい」、仕事や暮らしに挑戦・体験することを通じて、参加者と市、地域の皆さんと一緒に活性化に向けた取り組みを進めるとともに、本市への移住を促し「選んでもらう」ことで、人口減少の抑制を図ることを目的とした事業で、令和6年度から実施しています。今回は、2泊3日の「お試し留学」の実施状況をお知らせします。

庄原いちばんづくり留学の考え方

「庄原いちばんづくり留学」は、全国各地の若者が本市に滞在しながら、庄原の強みであり、基幹産業でもある農林業や、更なる若者の呼び込み、関係人口創出に繋がる就労等を通じて、本市に定着してもらうことを目的とした、就労体験型プログラムです。具体的には、次の①～③のプログラムを進めています。

①お試し留学（2泊3日）

②留学インター（2週間～3ヶ月）

③留学（1年）

2泊3日の「お試し留学」を実施しました

9月と10月に、3回の体験プログラムを実施し、市外にお住いの18歳から29歳（高校生は対象外）の総勢23人の参加がありました。

（1）テーマ 「庄原」で見つけ、ひろげよう！あなたの可能性

～庄原市の農林業のしごと・暮らしを、まず、体験してみてください～



（2）日程・参加者数

	日程	主な体験地域	参加者数など
第1回	8月30日～9月1日	東城地域	台風により中止
第2回	9月13日～15日	比和・高野地域	参加者：7人
第3回	9月20日～22日	庄原・西城地域	参加者：7人
第4回	10月11日～13日	総領・口和地域	参加者：9人

（3）体験プログラム内容

1日目	●本市ならではの施設・場所に行こう ●庄原産の食材を食べながら地域の人と交流しよう（夕食会）
2日目	●本市の仕事「農林業」を知ろう・体験しよう（2～3ヵ所）
3日目	●本市の豊かな自然を体感しよう ●本市での体験を振り返ろう（意見交換会・感想発表）



①事業名 / ②担当課評価 / ③外部評価

①庄原市ひとり暮らし高齢者等巡回相談事業 / ②現行どおり / ③現行どおり

ひとり暮らしの状態にある高齢者などの世帯の福祉増進のため、ひとり暮らし高齢者等巡回相談員が訪問し、生活指導や見守りなどを行う事業

■外部評価要旨

孤独死をはじめとした高齢者に関する諸問題を解消するため、単身高齢者世帯の見守りを実施する本事業は、高齢化が進む現状にあっては、重要な事業として位置付けられる。地域や事業者などの多様な主体と連携し、現行のとおり事業を継続する必要がある。一方で、巡回相談員の扱い手不足や負担感が課題となっているため、研修の充実化や訪問件数の多い巡回相談員の報償費などの増額を検討いただきたい。

担当課:高齢者福祉課



担当課:農業振興課



①繁殖用和牛造成推進事業補助金 / ②現行どおり / ③現行どおり

繁殖用和牛農家を対象とする、和牛産地としての繁殖基盤の強化と拡大を目的とした、繁殖用雌牛の増頭にかかる経費を補助する事業

■外部評価要旨

本市のブランドを牽引する比婆牛をはじめとした和牛の維持につながる本補助金の役割は大きく、今後も継続実施していく必要性がある。農家の高齢化、飼料価格の高騰と子牛価格の下落といった社会情勢の変化に応じつつ、農家数ならびに繁殖雌牛頭数の維持に向け、本補助金も含め多面的な視点で農家への支援を検討いただきたい。

①楽笑座管理運営事業 / ②現行どおり / ③現行どおり

市民に交流の場を提供と、市街地のにぎわい創出のため、楽笑座の管理運営と同施設を拠点に活動する市民団体を支援する事業

■外部評価要旨

近郊に市民会館などの整備が進んだことで、楽笑座の利活用が減り、本事業の目的である市街地のにぎわい創出やテナントミックスを達成することは難しい状況にある。加えて、施設の老朽化が進行しており、さらなる利活用が進むとは考えにくい。一方で、施設の管理運営を業務委託から直営に変更後も少数ではあるが継続利用している団体があることから、現行どおりの管理運営により地域での施設利活用を図りつつ、徐々に事業の縮小を検討されたい。

担当課:商工観光課



①危険建築物除却促進事業補助金 / ②拡充 / ③拡充

空き家の増加により悪影響を受ける周辺の居住環境を改善するため、老朽化した危険建築物の除却に要する費用を補助する事業

■外部評価要旨

今後も増えゆく空き家の対策として、本補助金は対象物件の所有者が解体をするきっかけとなるものであり、大変有効であると考えられる。さらなる空き家対策のため、少なくとも老朽危険建築物として認定された全ての物件の解体に対し、本補助金を交付できるよう、予算措置の拡充を検討されたい。

担当課:都市整備課



評価結果を今後の事業運営に反映を

厳しい財政状況の中、「拡充、継続する事業」と「縮小、終了する事業」を考える必要があります。

こうした考え方のもと、本年度の行政評価委員会では、市担当課の事業説明を聞きながら、8事業を評価、検討を行いました。

さまざまな課題があると思いますが、委員会で取りまとめた評価結果を市行政に受け止めてもらい、今後の事業運営に反映していただきたいと思います。

行政評価委員会委員長
清水孝清さん

評価の経過は、市ホームページをご確認ください。



※「市民意見の聴取」

プランナー・モニター(通称: プラモニ)へ登録した人に、インターネットを利用した事業評価のご協力をお願いしています。

プラモニの登録はこちらから。



行政評価を実施しました

行政管理課行政管理係 ☎0824-73-1112

市は、市民の皆さんからの意見を市政に反映させる「市民が主役のまちづくり」を進めています。その一環として、市が取り組んでいる事業について内部評価し、その評価に対して「市民意見の聴取(※)」と「庄原市行政評価委員会」による外部評価を実施しています。

● 本年度の行政評価

本年度は、1次評価として所管課が45事業を自己評価し、そのうち次の8事業について外部評価を受けました。評価結果は次のとおりです。

①事業名 / ②担当課評価 / ③外部評価

①住民告知放送事業(庄原市告知端末初期設定等補助金) / ②終了 / ③終了

住民告知端末設置促進のため、転入、転居により新たに生じた世帯などを対象に初期設定などに要する費用を補助する事業

担当課:行政管理課



■外部評価要旨

本補助金は、住民告知放送事業のうち住民告知端末設置のための光ケーブル引き込み工事にかかる費用に対する補助であるが、住民告知端末の設置率は74.1%と高水準となっていることから、補助金要綱の目的は達成されたといえる。スマートフォンなどの端末機器の著しい普及も相まって、今後、設置者が増加することは考えにくく、本補助金の継続は有効性が低いといえる。一方で、移住者への支援や障害・高齢などにより情報を得にくい世帯への対応については、告知端末以外の情報伝達ツールも今後検討いただきたい。

①庄原市買物弱者対策支援事業 / ②現行どおり / ③拡充

移動販売を実施し、高齢者などの買い物支援と見守り活動を行う事業者に対し、移動販売車の購入補助および奨励金を交付する事業

担当課:社会福祉課



■外部評価要旨

地域商店の減少や高齢の免許返納者が増えている現状にあって、同事業は高齢者にとって貴重な買い物の場を提供すると共に、一人暮らし高齢者の日頃の見守りにつながる有効な事業であり、今後期待が高まる。しかし、採算性が乏しく、事業者の地域貢献の思いに支えられているような状況であり、今後の事業継続が課題といえる。各事業者が移動販売による経営が続けられるよう、移動販売車の更新費用の負担支援や、高齢者などの見守り活動奨励金を増額するなど、検討していただきたい。

①庄原市公衆無線LAN管理運営事業 / ②終了 / ③終了

情報通信格差の解消などを図るために、市内の公共施設に公衆無線LAN装置を設置し、インターネット接続環境を提供する事業

担当課:企画課



■外部評価要旨

本事業の実施により、市内各拠点にブロードバンド環境が整備されてきたが、平成30年度に市内全域に超高速情報通信網が整備されたことで、公共施設へ行くなくともインターネットが使える環境が整い、公衆無線LANを利用する新規登録者は減っている。こうした現状から、当初の目的は達成されたといえる。一方で、一部の公共施設ではネットワーク環境が未だ整っていない状況があり、オンライン研修などの開催も増えていることから、未整備の施設については新たにネットワーク環境の構築を検討していただきたい。

①生ごみ処理機器購入補助金 / ②現行どおり / ③現行どおり

一般家庭から排出されるごみの減量化、資源化を促すため、生ごみ処理容器または生ごみ処理機購入費用を補助する事業

担当課:環境政策課



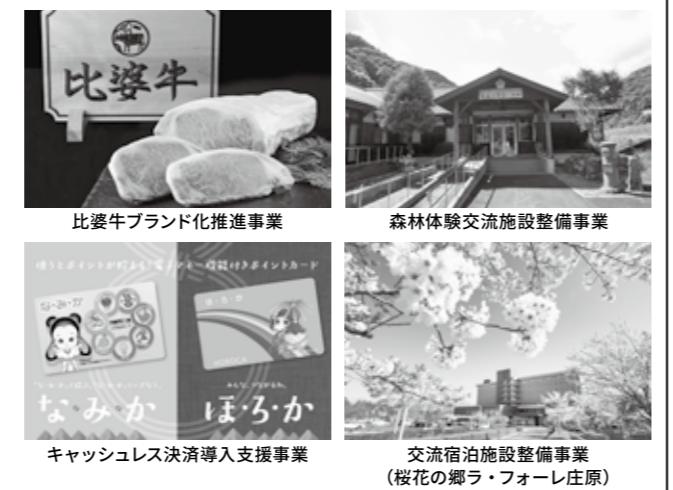
■外部評価要旨

本補助金は、生ごみの堆肥化による可燃ごみの減量化を推進するため、市民にインセンティブを与える点において大変有効であり、今後も継続していく必要があるものと思われる。補助対象であるコンポストと電動処理機の購入価格に差があることから、将来的には処理方式に応じた補助金額に設定するなど、補助金交付要綱の見直しについて検討していただきたい。

“にぎわい”が実感できるまち

基本施策

農林水産業の振興、商工業の振興
観光交流の推進、多文化交流の促進



主な取り組み

- ▶ 比婆いざなみ街道物語推進事業(マラニック大会など)
- ▶ 新規就農者総合支援事業
- ▶ 循環型林業推進事業
- ▶ 有害鳥獣処理施設整備事業
- ▶ サテライトオフィス誘致事業
- ▶ 観光推進体制充実事業

“快適な暮らし”が実感できるまち

基本施策

生活基盤の整備、生活環境の向上
生活の安全確保、環境衛生の充実



主な取り組み

- ▶ 常備消防施設整備事業
- ▶ 斎場整備事業
- ▶ 生活交通バス等運行補助事業
- ▶ 超高速情報通信網整備事業
- ▶ 道路新設改良事業、災害防除事業
- ▶ 新東城ストックヤード整備事業
- ▶ 脱炭素地域推進事業

“あんしん”が実感できるまち

基本施策

子育て支援、高齢者の自立支援、障害者の自立支援、地域福祉の向上、健康づくりの推進、医療の充実、社会保障制度の適正運営



主な取り組み

- ▶ 障害者支援事業
- ▶ 高齢者等生活支援事業
- ▶ 放課後児童クラブ施設整備事業
- ▶ 保育所ICTシステム導入事業
- ▶ 出産祝金交付事業
- ▶ 乳幼児等医療費助成事業
- ▶ 健康増進事業

“学びと誇り”が実感できるまち

基本施策

学校教育の充実、生涯学習・社会教育の充実、芸術・文化の推進、スポーツの推進、家庭・地域の教育力の向上



主な取り組み

- ▶ 小・中学校遠距離通学支援事業
- ▶ 小中学校トイレ洋式化事業
- ▶ 高等学校教育振興補助事業
- ▶ 読書のまちづくり推進事業
- ▶ 放課後子供教室推進事業
- ▶ 生涯学習推進事業

第3期庄原市長期総合計画の策定に向け 市民や事業者の皆さんを対象とした アンケート調査を実施します

企画課企画調整係 ☎ 0824-73-1128

市は、まちづくりの指針として「長期総合計画」を策定し、各種施策・事業に取り組んでいます。現計画の「第2期庄原市長期総合計画」が令和7年度に最終年度を迎えるため、現在、次期総合計画の策定に着手しております、その一環としてアンケート調査を実施します。

この調査は、市民や市内の事業所の中から無作為に対象者を抽出し、暮らしの課題や満足度、日常生活における幸福度、地域産業を支える人の意見などを把握することで、次期計画の策定と関連する施策の立案に関する基礎資料として活用することを目的としています。

新たな「第3期庄原市長期総合計画」は、令和8年度からの10年間の計画として策定する予定です。また、「第3期庄原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」についても、第3期庄原市長期総合計画と一体的に策定することとしています。アンケートは、12月中旬以降に对象となった人や事業者に送付します。趣旨をご理解いただき、多くの皆さんの回答をお願いします。

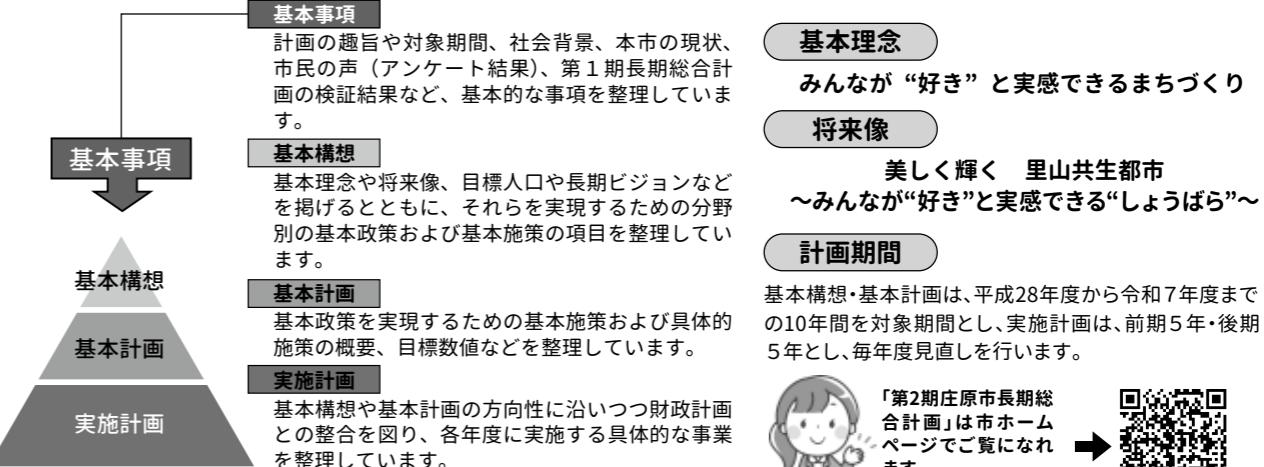
庄原市長期総合計画

長期総合計画は、本市のまちづくりの指針となる計画で、市が策定するさまざまな計画の中で、最も上位の計画です。現行の計画は、平成28年度から令和7年度までを計画期間とする「第2期庄原市長期総合計画」です。

将来像（あるべき姿）や達成しようとする目標、そのための取り組みなどを整理したもので、行政と市民の皆さんと一緒にまちづくりを進めていくための大切な計画です。

第2期 長期総合計画の概要

計画の構成



基本理念

みんなが“好き”と実感できるまちづくり

将来像

美しく輝く里山共生都市
～みんなが“好き”と実感できる“しょうばら”～

計画期間

基本構想・基本計画は、平成28年度から令和7年度までの10年間を対象期間とし、実施計画は、前期5年・後期5年とし、毎年度見直しを行います。



「第2期庄原市長期総合計画」は市ホームページでご覧になれます。



基本施策に基づいたこれまでの主な取り組みを紹介します

“絆”が実感できるまち

基本施策

自治・協働の推進、人権尊重社会の実現、男女共同参画社会の実現、定住の促進、効果的・効率的な行政財政運営

主な取り組み

- ▶ 行政事務改善事業
- ▶ しょうばら縁結び事業
- ▶ 自治振興交付金事業
- ▶ 定住促進奨励事業
- ▶ シティプロモーション事業
- ▶ 公共施設適正管理推進事業



お通り

11月4日、街道東城路（東城市街地）周辺で、伝統行事「第31回お通り」が開催され、約2万人が沿道に集まりました。

「お通り」は、慶長6年（1601年）に東城五品嶽城主だった長尾隼人正一勝（読み方：カツナカヒロヒコ）が、関ヶ原の戦いの戦勝祝いとして始めたのが起源とされ、大名行列、武者行列、母衣（なまこね）からなる行列を組みます。平成5年から、お通り保存振興会によるイベントとして開催されるようになり、本年も晴天のもと、華やかな行列を披露しました。



除雪作業にご理解とご協力を

建設課管理係 ☎ 0824-73-1150



12月に入り、市内各地域で積雪が予想されます。

県と市は、積雪時に道路交通を早期に確保するため、除雪に努めています。

除雪作業は日常生活に欠かすことのできない道路交通を確保するための重要な作業であり、迅速かつ効率的に行う必要がありますが、積雪量や障害物などで時間が掛かる場合もあり、道路の幅や構造によっては、除雪できない道もあります。

皆さんのご理解とご協力を願っています。

皆さんのご理解とご協力を願っています。

市道の除雪

市は道路上に20センチ以上の積雪が確認され、通行に支障がある場合に除雪作業を行います。（国・県道は積雪15センチ以上）

夜間の除雪作業は大変危険なため、原則として5時～17時間に行います。

道路の幅員や障害物などの状況によっては、交通規制などを行う場合があります。

市民の皆さんへのお願い

車道・歩道上の除雪作業の障害となるものは、事前に撤去するなどの対応をお願いします。また、道路脇に設置してある電気柵などは除雪作業で破損する恐れがありますので、あらかじめ撤去してください。

路上駐車は、除雪作業に支障が生じますのでご注意ください。

家や駐車場の出入口は特に注意して除雪していますが、除雪機械の構造上、全ての雪を取り除くことはできません。限られた時間と人員で市内の道路交通を確保しなければならないため、寄せ雪の除去は大変困難です。各家庭で取り除いてください。

道路脇の木の枝が積雪でたわみ、通行の障害になる場合は、樹木の所有者の責任で撤去するなどの対応をお願いします。特に危険な場合には、作業者が伐採することができます。

屋根の雪やつららが道路に落ちる恐れがある場合は、屋根に雪止めなどを設置し、事故防止の対策をしてください。

「雪下ろし」を支援します ～庄原市高齢者世帯雪下ろし支援制度～

高齢者福祉課高齢者福祉係 ☎ 0824-73-1143

対象となる作業



申請窓口・問い合わせ

高齢者福祉課高齢者福祉係 ☎ 0824-73-1143
または各支所地域振興室（西城支所は、しあわせ館内）

安心安全な毎のために

庄原消防署からのお知らせ

庄原消防署 ☎ 0824-72-9911・東城消防署 ☎ 08477-2-4005

**時季です
暖房シーズン到来!
冬暖房シーズンが発生しやすい**

寒さが一段と増すこの季節は、空気が乾燥し、暖房器具など火を取り扱う機会が増えたため、火災が発生しやすくなります。

火災のない年末年始を過ぎたため、火の用心を心掛け、外出時や就寝前には、必ず火の元点検を行いましょう。

暖房器具による火災を防ぐため、次のこととに注意しましょう

■暖房器具による火災を防ぐため、次のこととに注意しましょう

■暖房器具の近くに燃えやすい物を置かない

■暖房器具の上で洗濯物を干さない

■給油する際は必ず火を消す止める

■油種を確認し、誤給油を防ぐ

■給油後、給油タンクの蓋を確実に閉める

■外出時はマスクを着用する

■手洗いとうがいを、小まめに行う

■室内の換気を行う

■感染物を触る際は手袋を使う

感染対策とは

■シーズン前には、暖房器具の点検・掃除を行う

■就寝時や外出時は必ず電源を切る。火を消す

■暖房器具の近くに燃えやすい物を置かない

■暖房器具の上で洗濯物を干さない

■給油する際は必ず火を消す止める

■油種を確認し、誤給油を防ぐ

■給油後、給油タンクの蓋を確実に閉める

感染症を予防しましょう!

冬は風邪やインフルエンザなど、感染症が流行しやすい季節です。これらの感染症に加えて、新型コロナウイルス感染症も併行して流行する恐れがあります。

年末年始は、人と会う機会が多くなります。感染症を予防するため、マスクを着用し、手指消毒と手洗い、うがいを徹底しましょう。

市は、高齢者が除雪期に安心して生活できるよう、高齢者世帯を対象とした雪下ろし支援制度を設けています。

対象者

市内に住所を有し、現に居住している75歳以上の人のみで構成する市民税非課税の世帯が対象です。

また前記の条件を満たしている世帯で、次のいずれかに該当する人が同居している場合も対象となります。

- 1級～4級の身体障害者手帳所持者
- A～Bの療育手帳所持者
- 1級または2級の精神障害者保健福祉手帳所持者
- 15歳未満の人
- 要介護認定を受けた人
- 要支援認定を受けた人

申請方法

業者などに依頼した雪下ろし作業が完了した後、交付申請書に実施状況報告書と領収書の写しを添えて申請してください。

支授内容

対象作業に要した経費の3分の1以内の額（千円未満は切り捨て）を助成します。同一年度内の助成金の上限は3万7千円です。

● 経費の助成

対象作業に要した経費の3分の1以内の額（千円未満は切り捨て）を助成します。

除雪についての問い合わせ

▶国・県道の場合 広島県北部建設事務所庄原支所土木課 ☎ 0824-72-2015

▶市道の場合

環境建設部建設課 ☎ 0824-73-1150
西城支所地域振興室 ☎ 0824-82-2181
口和支所地域振興室 ☎ 0824-87-2113
比和支所地域振興室 ☎ 0824-85-3003

東城支所産業建設室 ☎ 08477-2-5141
高野支所地域振興室 ☎ 0824-86-2113
総領支所地域振興室 ☎ 0824-88-3065

市内の和牛と乳牛が大躍進！

第100回広島県畜産共進会

市は、平成22年度から市内全中学校3年生を対象に、令和4年度からは、市内の希望する小学校を対象に、助産師・保健師が思春期講座「いのちの命の尊さ」を行っています。

命の尊さを学び、性の正しい知識を身に付けること、自分や他者を大切にすること、自分の身を守ることを目的に実施しています。

中学生を対象に、命の誕生、思春期の性に関する悩みや対処法、避妊や人工妊娠中絶、性感染症予防、LGBTQなど、今後生きていくために必要なことを伝えています。

また、タバコやアルコール、薬物の害などについての講座も行っており、一部の学校では女性相談員によるデートDV防止の話を聞く機会も設けています。



肉用種種牛総合首席を獲得したファームおようの皆さんと「もも」



乳用種種牛総合首席を獲得した向田さん(右端)

両自治体で交流を促進

島根県飯南町と自治体間交流に関する連携協定



飯南町の塙原町長(左)と木山市長

10月17日、市は島根県飯南町と自治体間交流に関する連携協定を締結しました。

本協定は、両自治体の交流を促進し、地域の発展と振興に寄与することを目的としています。

両市町は古くから交流の歴史があるとともに、道路整備促進連携を進めてきたことなどから、このたびの締結に至りました。

締結式で木山耕三市長は、「自治体間・住民間で交流を深めることにより、新たな地域振興施策につながることを期待したい」とあいさつしました。

また、塙原隆昭町長も「相乗効果で共通課題を解決し、両市町のまちづくりを推進したい」と述べました。

今後は、職員間の交流を図るほか、雪合戦大会やスポーツ交流などの取り組みを進めていきます。

無意識の思い込みや偏見に気付こう

男女共同参画エンパワメント講座



講座を受講する参加者

10月24日、庄原自治振興センターで男女共同参画エンパワメント講座を開催しました。

講座では、Morita Kyariアーティスト代表の森田ひとみさんを講師に迎え、「自分自身のアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込みや偏見)が日常生活の中にいくつもあると気付いた」相手に対してだけではなく、自分に対する思い込みもたくさんあると感じた」と話しました。

10月24日、庄原自治振興センターで男女共同参画エンパワメント講座を開催しました。

講座では、Morita Kyariアーティスト代表の森田ひとみさんを講師に迎え、「自分自身のアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込みや偏見)が日常生活の中にいくつもあると気付いた」相手に対してだけではなく、自分に対する思い込みもたくさんあると感じた」と話しました。

10月24日、庄原自治振興センターで男女共同参画エンパワメント講座を開催しました。

講座では、Morita Kyariアーティスト代表の森田ひとみさんを講師に迎え、「自分自身のアンコンシャス・バイアス(無意識の思い込みや偏見)が日常生活の中にいくつもあると気付いた」相手に対してだけではなく、自分に対する思い込みもたくさんあると感じた」と話しました。



自分も相手も大切にするために ～思春期講座「いのちの学習」～

ほのぼのネット 0824-73-1214



赤ちゃんの抱っこ体験



二股聴診器を使ってお互いの心音を聞く児童

市は、平成22年度から市内全中学校3年生を対象に、令和4年度からは、市内の希望する小学校を対象に、助産師・保健師が思春期講座「いのちの命の尊さ」を行っています。

命の尊さを学び、性の正しい知識を身に付けること、自分や他者を大切にすること、自分の身を守ることを目的に実施しています。

中学生を対象に、命の誕生、思春期の性に関する悩みや対処法、避妊や人工妊娠中絶、性感染症予防、LGBTQなど、今後生きていくために必要なことを伝えています。

また、タバコやアルコール、薬物の害などについての講座も行っており、一部の学校では女性相談員によるデートDV防止の話を聞く機会も設けています。

市は、今後も専門職ならではの経験を交えながら、命の大切さや、自分や大切な人を守るために正しい知識を伝え、今後の生き方を考えるきっかけになるよう活動していることがあります。

小学生には、命の誕生だけでなく、それを待ち望む家族の想い、自分の体は自分のものであり、自分の体も気持ちも大事であるということについて、毎年年齢に応じて伝えていきます。

生徒や児童からは、「今まで私を育てくれたすべての人には感謝したい」「自分に関係ないと思える話でも、今後の人生に関係する大切なことなので、正しい知識で対応したい」というなどの感想が寄せられました。

街道東城路が多くの人でにぎわう

東城まちなみみぶらり散歩ギャラリー

11月2日～5日までの4日間、街道東城路（東城市街地）で「東城まちなみみぶらり散歩ギャラリー」を開催しました。トルでは、各家の展示品や手作り作品のほか、三楽荘を会場に企画展「ティッシュペーパーアート」などを行い、着物姿の観光客が、東城のまちなみ華を添えました。初日には、町内で日本酒を製造している北村醸造場の蔵を会場に、酒蔵コンサートを開催しました。東城中学校吹奏楽部や東城コールエコーの皆さんのが、すばらしい音色や歌声に、来場者は酔いしれていきました。また、沿道では東城中学校・東城高校生徒によるボランティアガイド「東城応援隊」が、来場者へ町中の見どころを案内しました。

来場者は、「散策するだけでなく、おすすめスポットで歴史などを知ることができ楽しかった」と話しました。



三楽荘で実施したティッシュペーパーアート



東城中学校吹奏楽部が演奏を披露



県大の祭典「白楊祭」開催！

県立広島大学庄原キャンパス大学祭「白楊祭」・10/26～27

県立広島大学庄原キャンパスで2日間、大学祭「第35回丘の上の白楊祭」が開催されました。

メインステージでは、軽音楽部によるライブやダンス部によるパフォーマンス、ビンゴ大会などが行われ、会場は多くの人でぎわいました。

26日には、市が県大生を対象としたジビエ料理の無料提供ブースと「庄原ファンクラブ」の加入者を対象としたくじ引きのイベントブースを設置し、多くの学生たちの興味を引いていました。

また同日、「広島農業短期大学開学70周年・広島



▲会場の様子

育てた大根を道の駅で販売

高野小児童が販売体験・11/14

道の駅たかので、高野小4年生の児童11人が高野大根の販売体験を行いました。

販売した大根は総合的な学習の時間の一環として栽培されたもので、8月末から同小学校裏の畑で児童が育ててきた「冬じまん」という品種です。販売2日前に収穫した約600本が店頭に並びました。

児童は「おいしい高野大根ですよ」「ありがとうございました」と大きな声を出して、元気いっぱいに販売。早朝から多くの人が道の駅を訪れ、立派に育った大根を次々と買い求めていました。

販売を体験した児童は「自分たちの育てた大根をたくさんの人たちが買ってくれてうれしかった」と話しました。



▲大根を販売する児童

県立大学開学35周年記念事業として式典や講演会が開催され、県立広島大学庄原キャンパスの前身である広島農業短期大学および広島県立大学の卒業生も多数庄原キャンパスを訪れました。

白楊祭実行委員長で同大学2年生の古田悠樹さんは「この白楊祭を多くの人が笑顔で楽しんでくれる姿を目指すことができました。実行委員長としての経験は、自分にとっても大きな成長の糧となりました」と話しました。



▲ジビエ料理に長蛇の列！

口和の秋を盛り上げる

第14回口和健康ふくし祭 わいわいフェスタ・10/20

No.2

口和地域で「くらす幸せ ちいきの笑顔 わたしの健康」をテーマに「第14回口和健康ふくし祭 わいわいフェスタ」が5年ぶりに開催され、約700人が来場しました。

ステージイベントでは、シルバーリハビリ体操の実演や口和町の戸山会による神楽公演が行われたほか、健康啓発器具がずらりと並ぶ健康コーナー、自転車発電機を30秒間こいで発電量を競う「発電Myチャレンジ」、町内団体によるさまざまなブース出店が行われ、会場は多くの人でぎわいました。

発電Myチャレンジに挑戦した来場者は「久しぶりに自転車に乗って、ペダルが重く感じ運動不足を痛感したが、またチャレンジしたい」と笑顔で話しました。



▲発電Myチャレンジに挑戦する来場者

No.1

健康に配慮した

飲酒を心掛けよう！

年末が近づき、忘年会や新年会、帰省などでお酒を飲む機会が増える時期になります。

楽しくお酒を飲むことは、ストレスの解消や親睦を深めることができます。良い面もありますが、適正量を超えると体にさまざまな影響が現れます。

お酒の適正量や多量飲酒による影響などを知り、健康に配慮した飲酒を心掛けましょう。

お酒の影響を受けやすい3つの要因

年齢…高齢者は、体内の水分量の減少などで若い頃と同じ飲酒量でもアルコールの影響が強く現れ、転倒、骨折、筋肉の減少の危険性が高まります。20歳代の人は脳の発達の途中であり、健康問題のリスクが高まる可能性があります。

性別…女性は、一般的に男性と比べて体内の水分量が少なく、分解できるアルコール量も少ないため、アルコールの影響を受けやすいたことが知られています。

体质…体内の分解酵素の働きの強弱などが個人によって大きく異なり、分解酵素の働きが弱い場合には、顔が赤くなったり、動悸や吐き気を引き起こしたりすることがあります。

他にも過度な飲酒による影響として、長期・大量に飲酒することによってアルコール依存症・生活習慣病・肝疾患・がんなどの発症があります。

自分の飲酒量を知る（お酒の量を気にするだけではなく、純アルコール摂取量を知ることが大切！）

飲酒量は、純アルコールの摂取量のことを指します。食事におけるカロリーのように数値化することができます。計算式で出せるほか、お酒の容器に記載されているものもあります。ぜひ一度確認してみてください。

摂取量 (ml) × アルコール濃度 (度数/100) × 0.8 (アルコールの比重) = 純アルコール量 (g)

厚生労働省では「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」を1日の平均純アルコール摂取量で「男性は40g以上、女性は20g以上」としています。図1では、純アルコール20gの目安を示しています。

日本酒	度数: 15%	ビール	度数: 5%	焼酎	度数: 25%
	量: 180ml		量: 500ml		量: 110ml
ワイン	度数: 14%	ウイスキー	度数: 43%	缶チューハイ	度数: 5%
	量: 180ml		量: 60ml		量: 350ml

図1 純アルコール20gの目安

アルコールと上手に付き合うために

まずは自分の飲酒状況を把握することから始めましょう。

「日頃飲み過ぎている」と気付かれた人は、あらかじめ量を決めて飲酒したり、1週間のうち飲まない日を設けたりしてみましょう。アルコールに関する情報は下記QRコードからも確認できます。

全国のアルコール健康障害に関する
相談窓口▶



お酒と自分の関係を調べる
AUDIT▶



お酒に伴うリスクや知識を知る
飲酒ガイドライン▶



保健医療課健康推進係 ☎ 0824-73-1255

思い思いのヒバゴンが集合！

2024 やほこフェスタ・11/4

八鉢自治振興センターで、「2024 やほこフェスタ」が開催され、約600人が来場しました。会場では、新米のすくい取りや地元野菜販売、マルシェ、キッチンカーも勢揃い。また、バンド演奏やカラオケ、生涯学習作品、鉄道コレクション・ジオラマ展示コーナーが、来場したファンを楽しませました。

さらに、初開催の「ヒバゴン仮装コンテスト」には県内外から9組の参加があり、会場内を大いに盛り上げていました。

八鉢自治振興区の織田みね子会長は「初の試みとしてヒバゴン仮装コンテストを開催しました。多くの人たちの結集により爽やかな秋晴れの下、素晴らしい祭典となりました」と喜びを話しました。



▲ヒバゴン仮装コンテスト



▲ジオラマの展示

映画で人生を見つめ直す

総領で映画上映会・11/3

総領自治振興センターで総領自治振興区が主催する映画上映会が開催され、70人の定員が満席となりました。

これは総領自治振興区の生涯学習部が毎年開催している行事で、今回は吉永小百合・天海祐希主演の映画「最高の人生の見つけ方」を上映しました。

これは、余命宣告を受けた主婦と女社長が偶然病院で出会い、入院中の少女が書いた「死ぬまでにやりたい事リスト」を2人で代わりに実行することで人生を見つめ直すという内容です。

上映会に参加した人は「2人が残された時間で人生を見つめ直す映画でした。話の展開と映像にとても感動しました」と話しました。



▲上映開始直前の会場

韋駄天のように駆け抜ける

中学校駅伝競走大会・10/12

道後山高原クロカンパークで「男子第65回・女子第43回庄原市中学校駅伝競走大会」が開催され、市内中学校の中から、男子8チーム、女子6チームが出場しました。

秋空の下、応援しているチームの仲間からは「がんばれ！」「負けるな！」と熱い言葉が飛び交い、各校仲間の思いを乗せたタスキを繋ぎ、どのチームも一丸となって最後まで走りきりました。

この大会は、中国中学校駅伝競走大会予選会も兼ねており、女子は庄原中、口和中が、男子は庄原中、東城中が代表校に選出。11月17日に行われた中国中学校駅伝競走大会でも、東広島の地で、庄原の代表校として堂々と走りました。



▲男子の部のスタート

No.7

比和の秋を満喫

第29回比和やまびこ祭・10/20

比和総合運動公園で、第29回比和やまびこ祭が開催され、多くの来場者でにぎわいました。

当日は好天の下、町内外からのランナーが多く参加するロードレースをはじめ、比和小児童による合唱や鼓笛演奏、比和中生徒による比和牛供養田植、元トライアル全日本チャンピオンの成田匠さん率いるバイクチームによるトライアルスーパーデモなどが行われました。また、比婆牛のサイコロステーキのほか、米や野菜、漬物など比和町の特産品販売も盛況でした。

狹野まどかさんによるスペシャルショーでは、華やかな着物と歌声に観客が魅了されました。

実行委員長の若林隆志さんは「今年多くの来場者があり、比和町の魅力を発信できた」と話しました。



▲比和小児童による鼓笛演奏



▲ロードレース



▲トライアルスーパーデモ

No.8

“もみじ”より“だんご”！?

第17回帝釈もみじまつり・11/4

No.6

紅葉の色づきはじめた帝釈自治振興センターで、第17回帝釈もみじまつりが開催され、県内外から大勢の人人が来場しました。

ステージ「楽の広場」では、新見ウインドアンサンブルの楽しい楽曲からスタートし、歌謡ショーや神石踊娘隊きらきら星によるよさこいダンス、じゃんけん大会などで盛り上がりました。

屋台「食の広場」では、松茸うどんや新そば、アマゴの塩焼き、さつま芋の天ぷら、ジビエの串焼き、キーマカレーなど、地元住民の心づくしの料理が振る舞われました。

来場者は「食べ物もおいしく、とてもにぎやかで、楽しく過ごすことができた」と話しました。



▲じゃんけん大会を楽しむ参加者

備後庄原駅に興味津々

庄原小児童が備後庄原駅を見学・11/5

No.5

JR 備後庄原駅で、庄原小2年生の児童49人が駅舎内やホームの見学を行いました。

当日は晴天に恵まれ、子どもたちは、備後庄原駅で乗車券の販売などを行う林智雄さんの案内のもと、線路上をまたぐ陸橋や、普段は使用しない駅の構内にある踏切を渡ってホームを移動しながら、駅の内外を見て回りました。

林さんやJRの職員から、鉄道設備や駅での業務についての説明を聞いたり、列車がホームに到着する様子や、カープ選手のオブジェを見たりしました。

児童は興味津々に「列車の最高速度は何キロですか」「運転手は何人いますか」と質問をしていました。



▲駅を見学する児童

市内の主な施設 牛木牛ぬの業務案内

年末年始の業務予定は、次の表のとおりです。■の部分が休業日となりますのでご確認ください。
なお、「出生」「死亡」「婚姻」など戸籍に関する届け出や、埋火葬、斎場使用の許可手続きなどは、休み中でも取り扱います。詳しくは市民生活課戸籍住民係（☎0824-73-1157）まで問い合わせください。

● その他の施設については、直接各施設へ問い合わせください。

広告 | 「親切・丁寧をモットーに地域社会に貢献する会社を目指しています！」

賃貸アパート/売買戸建て/土地

広島県知事(5)第9130 (社)全日本不動産協会会員 (社)不動産保証協会会員
有限会社 カントリーランド
 〒727-0012 広島県庄原市中本町1-4-9 庄原市役所前
TEL:0824・72・1497 FAX:0824・72・1435



(ホームページ)

あなたの相談をお受けします

悩みごと、心配ごと
困りごとなど、
お気軽にご相談を



※掲載の内容は、天候などの影響により中止・延期・変更となる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

各種相談	とき		ところ	備考	問い合わせ
人 権 相 談	庄原	1月7日(火)・21日(火) 13時30分～15時30分	庄原市ふれあいセンター	人権擁護委員	広島法務局三次支局 ☎0824-62-5070
行政相談	庄原	1月16日(木)13時～15時	庄原市ふれあいセンター	行政相談委員	市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1154
	東城	1月16日(木)13時30分～15時30分	東城支所		東城支所市民生活係 ☎08477-2-5121
	総領	1月8日(水)9時～11時	総領保健福祉センター		総領支所市民生活係 ☎0824-88-3063
	庄原	1月17日(金)13時～16時	庄原市ふれあいセンター	広島弁護士会による 無料相談。要予約。	広島弁護士会 ☎0120-969-214
法律相談	比和	12月27日(金)13時～16時	比和自治振興センター		広島弁護士会 ☎0120-969-214
生活安全相談	毎週月～金(祝日・年末年始除く) 9時～12時、13時～16時		市民生活課市民生活係	生活安全相談員	市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1244
			東城支所市民生活係		東城支所市民生活係 ☎08477-2-5121
消費生活相談	毎週月～金(祝日・年末年始除く) 9時～12時、13時～16時		市民生活課市民生活係内 庄原市消費生活センター	消費生活相談員	庄原市消費生活センター ☎0824-73-1228 市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1154
家庭児童相談	毎週月～金(祝日・年末年始除く) 9時～16時		児童福祉課あんしん支援 係	家庭児童相談員	家庭児童相談専用 ☎0824-73-1243
妊娠・出産 子育ての相談	毎週月～金(祝日・年末年始除く) 8時30分～17時15分		子育て世代包括支援センター ほのぼのネット (市役所本庁舎2階)	助産師・保健師 保育士・社会福祉士	子育て世代包括支援センター ☎0824-73-1214
認知症カフェ	庄原	「これから」 1月14日(火)13時～15時	庄原ショッピングセンタージョイフル2階	相談・情報交換 参加費なし	高齢者福祉課 地域包括支援センター係 ☎0824-73-1165
	西城	「コスモスカフェ」 1月9日(木)13時30分～15時	西城保健福祉センター (しあわせ館)	相談・情報交換 参加費100円	西城支所保健福祉係 ☎0824-82-2202
	東城	「おれんじカフェ・ええ塩梅」 12月24日(火)13時30分～14時30分	東城支所		東城支所保健福祉係 ☎08477-2-5131
	高野	「メンズ カフェ」 1月9日(木)13時30分～14時30分	高野保健福祉センター	相談・情報交換 参加費なし	高野支所市民生活係 ☎0824-86-2115
		「ほっとカフェ」 1月17日(金)10時～12時	下高自治振興センター		
	比和	「あしたのカフェ」 1月21日(火)13時30分～15時	比和温泉施設あけぼの荘	相談・情報交換 参加費100円	比和支所市民生活係 ☎0824-85-3001
障害者相談員 定期相談会	庄原	1月20日(月)13時30分～15時30分	庄原市ふれあいセンター	身体障害者相談員	社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210
身体障害者 補装具判定会	肢体	1月21日(火)13時～13時45分	広島県三次庁舎第3庁舎1階 三次市十日市東4-6-1	1週間前までに要予約	社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210
心の健康相談	1月21日(火)13時～14時30分		広島県北部保健所 三次市十日市東4-6-1	精神科医師による無料 相談。事前予約が必要。	広島県北部保健所保健課 ☎0824-63-5185

母子保健事業

●保健医療課母子保健係 ☎ 0824-73-1214

事業名	とき	ところ	持ってくるもの	備考
母子健康手帳交付	1月6日(月)・20日(月) 9時～17時	保健医療課母子保健係	▪出産予定日と受診した 病院名が分かるもの ▪本人確認書類 (運転免許証など)	事前予約が必要
	1月11日(土)10時～12時	庄原ひだまり広場 (こども未来広場内)		事前予約が必要(先着2組)
	12月23日(月)9時～12時	東城支所		事前予約が必要
育児相談	1月14日(火)10時～12時	庄原ひだまり広場 (こども未来広場内)	母子健康手帳	事前予約が必要。支所での相談を希望する場合はお問い合わせください。



ウインターイルミネーション2024-2025 備北イルミ

1月13日(月・祝)まで開催!

【点灯時間】12月:17時30分~21時
1月:17時45分~21時

※毎週土曜日は22時まで点灯
※入園は点灯終了の1時間前まで

備北公園管理センター ☎ 0824-72-7000
(https://www.bihokupark.jp/)



★「ウインターイルミネーション2024-2025備北イルミ」期間中 開園時間カレンダー★

12月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
日 月 火 水 木 金 土	○	休	▲	▲	▲	▲	★	○	休	▲	▲	▲	▲	★	○	休	▲	▲	▲	▲	★	○	○	○	休	▲	▲	▲	▲	▲	○	休
1月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	休	
水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月	休	○	○	★	○	休	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

【開園時間】 ○: 9時30分~21時 ★: 9時30分~22時
▲: 14時~21時 休: 休園

13時~	とき	ひばの里 上の農家	新春餅つき
1月2日(木)・3日(金)			
とこ	ひばの里 やきもの工房	年越しそばのふるまい	
とき	12月30日(月)	15時~	
とこ	ひばの里 やきもの工房	ミニ門松つくり	
とき	12月28日(土)・29日(日)	13時~20時30分	(受け付けは19時30分まで)
定員	30組/日	料金	18,000円(基)

今年1年間の感謝の気持ちを込めて、庄原産手打ちの年越しそばを先着100人に振舞います。

ひばの里で収穫したもち米で餅つきを行います。つきたての餅は先着100人に振舞います。

玄関や棚の上などに飾れる、かわいいミニ門松を作る体験です。

とこ

ひばの里 やきもの工房

13時~20時30分

(受け付けは19時30分まで)

とき

12月28日(土)・29日(日)

13時~

とき

ひばの里 やきもの工房

13時~20時30分



人の動き（庄原市の人口）
令和6年10月末現在

【住民基本台帳登載人口】

人口 31,313人（前年比-792人）
男 15,003人（前年比-350人）
女 16,310人（前年比-442人）
世帯数 14,866世帯（前年比-147世帯）

【うち外国人】人口 572人（前年比51人）

【各地域の内訳】

○庄原地域	16,556人	(7,846世帯)
○西城地域	2,880人	(1,314世帯)
○東城地域	6,539人	(3,258世帯)
○口和地域	1,698人	(744世帯)
○高野地域	1,446人	(628世帯)
○比和地域	1,102人	(526世帯)
○総領地域	1,092人	(550世帯)

休日診療のご案内

12月・1月の休日診療については、次のとおりです。

●庄原市休日診療センター

診療日：日曜・祝日・年末年始（12/30～1/3）

問診療日 ☎0824-72-9900

診療日以外 ☎0824-73-1155（保健医療課）

●東城地域

12月22日(日)	庄原市休日診療センター	☎0824-72-9900
29日(日)	瀬尾医院	☎08477-2-0023
30日(月)	次のいづれかにご連絡ください。	
31日(火)	庄原赤十字病院	☎0824-72-3111
1月1日(水)	西城市民病院	☎0824-82-2611
2日(木)	庄原市休日診療センター	(☎0824-72-9900)
3日(金)		
5日(日)	東城病院	☎08477-2-2150
12日(日)	庄原市休日診療センター	☎0824-72-9900
13日(月)	庄原市休日診療センター	☎0824-72-9900
19日(日)	日伝病院	☎08477-2-2180

献血のご案内

問保健医療課 ☎0824-73-1155

献血を次のとおり実施します。

400ml 献血限定ですので、皆さんのご協力をお願いします。

実施日	会場	受付時間
1月8日(水)	市役所本庁舎	10時～11時15分 12時30分～15時

広報日記

▶庄原市ふるさと大使・庄原市ジビエ大使の西田篤史さんが、11月3日にお亡くなりになられました。今回は西田さんを偲んで、本市との関わりなどを紹介しています。これまで、さまざまな場面で庄原市をPRしていただき、本当にありがとうございました。㊣

▶「お通り」の取材では、多くの市民の方や観光客が集まり、行列の周りは大変にぎわっていました。他のカメラマンも多く、こちらも負けないように撮影を頑張りました。㊣



食育コーナー

問児童福祉課 ☎0824-73-1192

食と人、人と人をつなぐ 安心・安全でおいしい食事を ～西城保育所の取り組み～

西城保育所では「おいしさを実感する食事」「食材と食のつながりを知る」「菜園活動やクッキング活動と食をつなぐ」「食に対する興味・関心・意欲を育てる」「食を通じて人ととのつながりを深める」を目標として「保育としての給食」を提供することを進めています。

そのため、毎月の給食会議で情報交換を行ったり、調理員が子どもたちの食事の様子を見て回ったりしています。子どもたちも食事の感想を調理員に伝え、保育室と調理室とが密接に連携しています。

具体的な事例として、西城保育所の子どもたちは、日本の食文化にたくさん触れる体験をしています。和食文化の特徴である出汁をとる体験では、白湯と飲み比べをして出汁のおいしさを感じました。また、給食に郷土料理の日を設け、給食に出た郷土料理を日本地図に掲示して食文化を知り、その郷土料理を味わいました。本市の猪肉も活用して、食に対する興味・関心も膨らませています。

また、JA女性部みそ加工グループの皆さんと一緒に、みそ造りに挑戦しています。みそ造りの最終工程であるみそ玉作りで、空気を抜きながら樽に入れる作業を体験しました。今後は熟成させたみそを給食に使い、地域の特産にも触れていく予定です。

こうした毎日の食の取り組みを支えるのは優れた食材です。できる限り地場産の食材を調達し、また、菜園活動で育てた野菜も食材として使いながら、自園調理の特徴である食べる人、作る人のお互いの顔が見える関わりを大切にして給食を提供しています。

心身の発達において食事は重要です。これからも給食を通して食材の豊かさに触れ、人と人をつなぐ取り組みを進めていきます。



▲みそ造りに取り組む子どもたち



しょうばら九日市

毎月9日は、しょうばら九日市 1月
★出店者募集中！あなたのお店を開こう。
★毎月20日が出店申込締め切りです。
★申し込みは楽笑座
とき 1月9日(木) 9時～13時
ところ 中本町・まちなか広場周辺(のぼりが目印)
詳しくはH Pで <http://kunchi-ichi.jp/information.html>



時悠館

☎08477-6-0161

開館：9時～17時、休館：水曜（祝日開館・翌日休館）・年末年始

小さな石器に 人類の大いなる叡智が宿る

写真の石器は、庄原市高野町只野原3号遺跡（現「道の駅たかの原」）で出土した、ナイフ形石器と呼ばれる2万年以上前の旧石器時代後半の石器です。

漆黒色の隠岐産黒曜石を用いた優美な作品で、鋭く尖る先端部の形状から、槍の先に装着して用いた狩猟具の一種と想像ができます。

この見事な切っ先を作る技術は、伝承された知識と技術の習得によって、誰でも作れる伝統工法の産物であったと考えられています。

石器作りでは、まず原石を粗割りして石核（石器を作るための核となる石）を準備します。この石核から、石器の完成形に生かせる各面や稜線をうまく残すよう、直線的で鋭利な縁辺をもつ剥片（石器の素材）を打ち剥がしていきます。

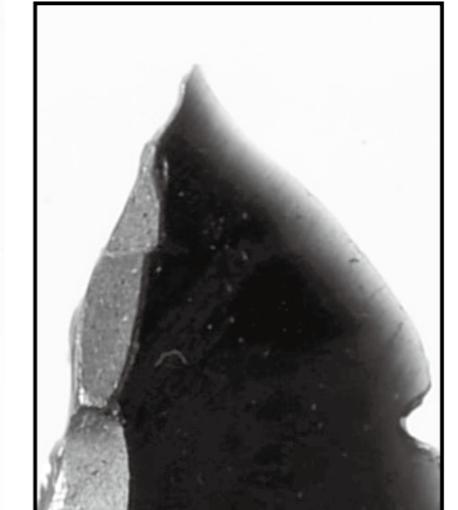
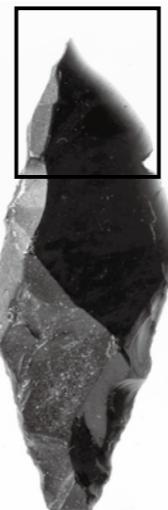
得られた剥片から形状の適したものを見つけて選び、さらに加工を加えて「切り出し形」のナイフ形石器が完成します。ちなみに、別の遺跡からは石器の失敗品も数多く出土します。

力学的に割りやすい角度を考えながら打ち剥がして鋭い剥片を形成し、さらにその縁辺（刃縁）の鋭さを生かして作り出された三角錐の形をした切っ先。その鋭さは究極的なものといえます。石器は、精妙な物理のメカニズムに基づき、発明されていた訳です。

現代科学の視点で考えれば考えるほど、知性の極みに見えます。先史時代の人々が、自然の摂理を学び、人類のもって生まれた賢さを生かして暮らしていたことに、この石器を通じて気付かされます。

このナイフ形石器は、館内に実物展示をしています。ぜひ時悠館にお越しいただき、帝釈峠遺跡群の石器と共に人類の大いなる叡智に出会ってみてください。

（関連図書：『庄原市の歴史』通史編、「2ナイフ形石器の製作」）



只野原3号遺跡のナイフ形石器(右は拡大図)
(広島県立埋蔵文化財センター所蔵)



市民ギャラリー「アート多愛夢」 情報BOX（西本町二丁目1番21号）

市街地の空き店舗を活用した、各種展示ができる市民ギャラリーです。

▶世界児童画作品展

とき 1月8日(水)～10日(金) 10時～15時

問アート多愛夢事務局 ☎0824-72-6405（友永）

※展示を希望する団体(または個人)はお申し込みください。使用料は要りません。



12・1月のイベント情報

▶ゆめさくら講座

○草木染め教室(柿渋ほか)

とき 12月16日(月) ①9時～12時 ②13時～16時

▶イベント・展示・販売

○ゆめさくら歳末感謝祭

とき 12月25日(水)～29日(日)

【年末年始の休館日】

とき 12月31日(火)～1月3日(金)



市税・水道料金・下水道使用料 納付は口座振替が便利です

手続きは各金融機関の窓口でお願いします。

残高確認も忘れないでください。

●収納課 ☎0824-73-1511

●下水道課管理係 ☎0824-73-1175

●広島県水道広域連合企業団庄原事務所業務係

☎0824-73-1197



ロビーコンサート

問生涯学習課 ☎0824-73-1189

とき 12月23日(月) 12時15分～12時55分

ところ 市役所本庁舎 1階市民ホール

出演者 広島ジュニアマリンバアンサンブル

演奏曲目 序曲（フィガロの結婚より）、コーヒールンバ、ドレミの歌 ほか

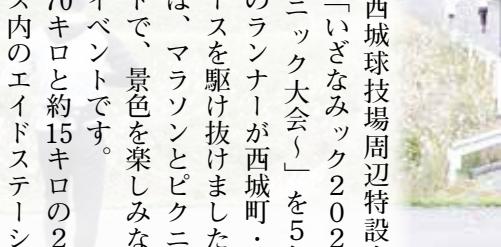
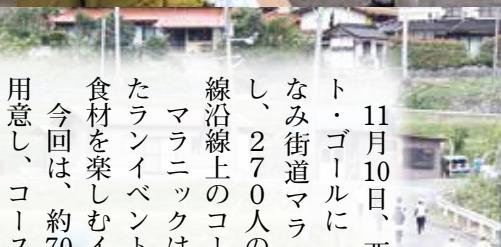
▶広島ジュニアマリンバアンサンブル

マリンバは木琴の一種で、アフリカが起源。「子どもたちだけで自由に音楽を作り上げてほしい」と日本マリンバ協会広島支部長の浅田三恵子が主宰し、平成3年に結成。広島市内の幼稚園児から高校生までが所属して活動している。

平成14年に「ヒロシマ国際平和文化活動推進団体」としての認定を受け、各国で演奏を通じた国際親善に努めている。さらに平成15年には「広島市民賞」を、続けて「国際貢献賞」、「広島ユネスコ活動奨励賞」、「国際交流奨励賞」などを受賞している。

海外での演奏交流や、国内のコンサートなどで、世界中の平和を願って、元気いっぱいの演奏を続けている。当日は、小学生から高校生までの幅広い年代のメンバー10人が集まり、一人一人が体中で音楽を感じ、全身を使って個性豊かに演奏を行う。

※掲載の内容は、天候などの影響により中止・延期・変更となる場合があります。詳しくはお問い合わせください。



11月10日、西城球技場周辺特設会場をスタート・ゴールに「いざなみック2024～比婆いざなみ街道マラニック大会～」を5年ぶりに開催し、270人のランナーが西城町・東城町の芸備線沿線上のコースを駆け抜けました。マラニックは、マラソンとピクニックを合わせたランイベントで、景色を楽しみながら、地元の食材を楽しむイベントです。

今回は、約70キロと約15キロの2つのコースを用意し、コース内のエイドステーションでは、地域の皆さんとの協力のもと、地元の産品が振る舞されました。

また、今大会ではJR芸備線でのショートカットを実施し、ロングコースは備後落合駅から比婆山駅、ショートコースは比婆山駅から備後西城駅で、40人がショートカットをしました。